



参加申込  
不要!

# OPEN CAMPUS 2015

大商大の  
オープンキャンパスで、  
あなたの人生がきっと変わる!

7月19日(日) 7月26日(日)

8月2日(日) 8月8日(土) 8月23日(日) 9月13日(日)

開催時間 10:00~15:00 [受付] 9:30~

●推薦入試直前オープンキャンパス 9月27日(日)



① 遠方からお越しの方へ 無料宿泊サービス実施!!



■ 経済学部 / 経済学科  
■ 総合経営学部 / 経営学科・商学科・公共経営学科

詳しい情報は  
こちらから!



会員と母校を結ぶ  
校友会 会報誌

2015 No.16

# 校友



【がんばる!校友】 商大魂を受け継ぐ“女子力”  
【大学の取り組み】 新キャンパス校舎の新築決まる

# 商大魂を受け継ぐ

~ Daishodai Jyoshi ~

## “女子力”を探る

大商大を卒業後、結婚・出産を機に家庭に入る女性も多い中、  
なお社会の第一線で活躍している女性校友も多い。

今回はその中から4名に集まっていただき、近況報告や将来の夢、大商大の思い出などを伺った。

(収録:平成27年4月18日/撮影協力:谷岡学園梅田サテライトオフィス「CURIO-CITY」)

### おかやまマラソンの 宣伝をしています(大野さん)

——皆さん初対面で年齢も出身学科も違いますから、自己紹介を兼ねて近況報告をお聞かせください。

**大野:** 現在、今年の11月8日に開催される「第1回おかやまマラソン」の実行委員会の事務局で、企画広報担当の班長をしています。今日は大会のPRも兼ねて来ました(笑)。

**岩崎:** 私は京都銀行で店頭営業をして

います。窓口の仕事ですが、話すのが苦手(笑)。

**水本:** 私は奈良県の介護施設で事務の仕事に携わっています。今年で6年



Daishodai Jyoshi Keiko

岡山県環境文化部スポーツ振興課  
「おかやまマラソン」実行委員会事務局  
総務企画課 副参事・企画広報班長

### ●大野 慶子さん

平成15年 大商大大学院  
地域政策学研究科卒(博士:地域政策学)  
岡山県在住

目になりました。

**南:** 私は今、学生に戻っています(笑)。実は今年の4月に兵庫県立大学の看護学部に入學したばかりで、新しい人生のスタートを切ったところです。

——大野さん、「おかやまマラソン」ってどんな大会なんですか。

**大野:** このマラソンは、42.195kmのフルマラソンと、4.5kmのファンランで構成されていて、定員が計1万5千人ですから、かなり大規模な大会になると思います。岡山市出身のメダリスト・有森裕子さんをお招きし、当日は引退後8年ぶりにフルマラソンを走っていただく予定です。PRキャラバンとして精力的に活動している岡山県のマスコットキャラクターの「ももっち」と「うらっち」も、当日走るかもしれませんよ。

**南:** ゆるキャラがマラソンを?

**大野:** さすがにフルマラソンは無理ですけどね(笑)。

——市民マラソンプームですからね。

**大野:** 今年は他の自治体でも1回目のマラソンが実施されます。マラソンに参加するとなると大変なトレーニングを積んでからと思われがちですが、有森

裕子さんからは、少くならなら階段を使うとか、一駅前で降りて歩くとか。日常生活にちょっとだけ工夫することからはじめましょうとアドバイスをいただいています。一人でも多くのランナーが楽しく完走できる大会にしたいと願っています。

### 社会人学生で博士号を取得しました(大野さん)

——大野さんは、大学院卒二期生なんですよ。

**大野:** 実は、大商大の大学院は3校目の大学なんです。岡山市役所の職員として働き始め、広報を担当したのが大きな転機でした。取材を通じて多くの皆さんとふれ合っているうちに、街づくりが楽しくなって。そんなある日、新聞を読んでいると、ふとある広告が目にとまりました。それが大商大の「西日本初、社会人学生募集」でした。学科は地域政策学研究科。街づくりにふさわしい学問じゃないか、とピンと来て。ところが、入学してからが大変! 講義は夕方6時から。1時間有給休暇制度を使って4時に職場を出ても通学に2時間かかります。駅の構内も道路もダッシュ、そんな毎日でした(笑)。

**南:** 仕事をしながら通ったんですか?

**大野:** はい。予定は2年でしたけど、結果的には博士号(地域政策学)も取得しました。

**南:** すごい! 私も遠距離通学しているんですが、睡眠時間はどれくらいでしたか?

**大野:** 追い込みの際は平均2時間くらいです。「6・3・0」という私ならではの法則があって、寝るのなら6時間か3時間、そうでなければ寝ない。丈夫な体に産んでくれた両親に感謝しています。

**南:** 働きながら大学に通っていると、職場の皆さんの反応はどうでしたか?

**大野:** その点は非常に恵まれていましたよ。以前にも増して仕事に励んでいたら、とても協力的に理解してくださって…。私の博士号取得に刺激を受けたのか、岡山大学の大学院に通い始めた

上司もいましたね。

——大学院で学んだことは、どのように活かされていますか?

**大野:** 大学院を卒業してすぐ、国土交通省の街づくりに関する財団に研修派遣となり、公共空間の賑わい利用などに関わりました。その後、市に戻り博士論文「水辺空間の再生」の中で触れていたJR岡山駅東の「西川緑道公園」については、偶然なのか、岡山市でその活用・再整備が進められることになり、7年間担当することになりました。大学院での研究が、今の私を導き、支えてくれています。

### 窓口業務は臨機応変な対応が大変です(岩崎さん)

——岩崎さんのお仕事はいかがですか?

**岩崎:** 銀行の仕事は、預金だけでなく投資信託や保険なども扱っています。銀行の内外に資格試験や研修があって、中には証券外務員(現在の外務員)のように、合格しないと担当できない商品もあります。だから資格が欠かせません。でも仕事に役立てるというのではなく、知識を増やすことと思って、日々、その勉強が大変ですね。

**水本:** 銀行に行くと、窓口の女性の笑顔に親近感が持てます。

**岩崎:** その通りですが、言葉の遣い方も重要ですね。畏まってお話しするとよそよそしいし、くだけすぎると馴れ馴れしいと思われて(笑)。お客様の反応を見て、臨機応変に対応しなければいけません。それに銀行内は意外と音が大きく、声を張らないと聞き取れないようです。窓口業務はのどがカラカラの毎日です(笑)。

### 迷わず、看護への道へ進みました(南さん)

——南さんはなぜ看護の道へ進んだのですか?

**南:** 大商大を卒業して、インターンシップでお世話になったAV機器の販売会社で営業をしていました。この時は男



Daishodai Jyoshi Koiko

京都銀行向島支店勤務

### ●岩崎 恋子さん

平成24年 大商大総合経営学部  
公共経営学科卒  
京都府在住

性社員と分け隔てなく、企画書を作ってプレゼンの準備をしたりと、朝も夜も必死で数字を追いかけていました。仕事とはこういうものだ、と自分に言い聞かせて。でも、疲れていたんでしょうね。ふと母親に弱音を吐いたんですね。母親も分かっていたんですね。「辞めて戻ってきたら」と。実家近くの建築系の会社に転職しました。ここはうってかわって、数字に追われることもありません。指示されたことをこなしていく毎日でした。

——平均的な女性の生活スタイルとして、事務職で実家通いだと、かなり満足度が高いように思われますが。

**南:** はい、恵まれた環境でしたが、前の会社との違いに戸惑って(笑)、慣れるまでに時間がかかりました。それに、女性が昇進するにはなかなか難しいことがわかりました。これではいけないと、秘書検定を受けたりとスキルアップを目指しつつもでした。そんなある日、病気で入院したんですね。今後の人生を考えながら看護師さんの姿を見ているうちに、初めて看護師を職業として意識したんです。「私が求めていたのはこ



Daishodai Jyoshi Manami

兵庫県立大学看護学部  
1回生在学

●南 愛美さん

平成21年 大商大総合経営学部  
経営学科OBPコース卒  
兵庫県在住

の仕事なんじゃないか」って。ベッドの上で一人の時間はたっぷりあります。調べてみると、社会人経験者で看護師を目指す人は多い。周囲の人にも相談したら「あなたなら向いているよ」と背中を押してくれました。そこで、退院してから6か月ほどは、久しぶりの受験勉強です。当時私は27歳でしたけど人生は1回しかないと言いつつ聞かせたり、谷岡学長の「やるかやらないか迷ったらやる」の言葉を思い出して発奮しました(笑)。おかげでこの4月から新生です。今は朝5時半に起きてお弁当を作り、看護師と保健師、助産師資格を取るために頑張っています。

地域に愛される福祉施設で働いています(水本さん)

——水本さんは介護事務とのことで、どんな内容ですか？

**水本:**医療事務が健康保険法に基づいて行われるのに対し、介護事務は介護保険法に基づきます。利用者の利用条件を計算し、それを本人や国に請求することが主な仕事です。3年に1度改定があり、それが今年の4月でした。新しい法律に対応しなければならぬので、毎日の業務が大変ですね。

**南:**通常の仕事をしながら新しい法律を覚えるんですか？

**水本:**はい。いつも通りの仕事をしつつ、分厚い資料を脇に置いて見比べながら(笑)。

——勤務先はどんな施設ですか？

**水本:**私が勤務している老人保健施設は、奈良県内で最も歴史のある施設です。利用者さんの多くは、地域に溶け込んでいます。例えば、毎年開催される地域の駅伝にチームで出場すると、住民の方々から大きな声援が寄

せられます。出場選手はそれが嬉しいそうです。もっばら私も応援係ですけど(笑)。

大商大から学んだこと

——皆さん、大商大を卒業してさまざまな経験を積まれたと思います。学生時代を振り返って、いかがでしたか？

**南:**私はOBPコースで、縦のつながりの大切さを知ったことですね。それから、学生スタッフだったので、オープンキャンパスのお手伝いが出来たことは良い思い出です。学部や性別・年齢を超えて多くの刺激を受けました。

**岩崎:**私は女子高から大商大に空手部の特待生扱いで入学しました。女子だけのところから強烈な男子色の環境に変わったので、心機一転の気持ちで通学していました。新鮮でした。

**水本:**空手部は九州男児が多いイメージがあります。

**岩崎:**そうですね。特に沖縄とか鹿児島出身が多かったです。その分、視野が広がって良かったと思っています。学生時代は、休講の日も部活に出て、休みがほとんどありませんでした(笑)。それでも、オープンキャンパスでお手伝いをしたことは良い思い出です。特にかき氷は人気があって(笑)。

**南:**そう。かき氷なつかしい!(笑)

**岩崎:**また、今でも仲の良い後輩が一人いるんですけど、その子は高校生の時に大商大のオープンキャンパスで私の姿を見て、大商大に進学したそうです。そのことを聞いた時は、とても嬉しかったですね。

**大野:**私は博士号を取得する際、高橋先生には随分お世話になりました。多くの先生方と素晴らしい出会いができて、良い大学だったと、今でも感謝しています。

**水本:**私も本当に良い大学生活でした。今でも当時の仲間とはよく会って、バーベキューをしたりしています(笑)。みんなとは、結婚して子供が生まれても家族ぐるみで集まろう、って

話しています。

**南:**大学生活も良かったけど、卒業してからも校友の皆さんにはとてもお世話になりました。営業で外回りの途中で校友会事務局に伺うと温かく迎えてくださって、何度も癒されました。

**水本:**先輩の皆さんには「大商大出身です」って言うだけで嬉しそうな表情をされますよね(笑)。

**岩崎:**私も大商大出身と聞くと、年齢や性別などを超えて親近感が湧きます。素晴らしい大学ですね。

**水本:**私は学友会本部に所属していましたが、その時思ったのは大商大は男子学生が多い分、負けん気が強い女性が多いかも(笑)。精神的に鍛えられる環境でした。

**大野:**なるほど、その発想はなかった。

在学生へ伝えたいこと

——在学中の女子学生へアドバイスをお願いします。

**南:**今の場所に限らず、いろんな場所でたくさんの人から刺激を受けたり、何事にも積極的に挑戦していただけたら、と思います。

**水本:**社会ではいろんな女性が活躍しています。それを参考にして欲しいですね。私の職場の女性の先輩の中に、定年を過ぎてから農業大学に進学した方がいます。人間、どんな年齢になってもチャレンジ精神を持って頑張らないと、と思いました。ちなみに、その方は「学割が使える」ってはいませんでした(笑)。

**岩崎:**大商大は男子学生が多い大学ですから、男性の考え方をむしろ学んでほしいですね。また違った見方が身に付くと思いますよ。また、勉強や部活・サークルなど多くの経験を積むことが大切です。特に私と同じ特待生の方は、学生としての本分を忘れず、授業や部活以外で多くの人とコミュニケーションを取ってほしいですね。

**大野:**私は一期一会の出会いを大切にしてほしいと思っています。ネットワークは仕事上だけでなく、心の拠り



Daishodai Jyoshi Kaori

医療法人 鴻池会勤務

●水本 香織さん

平成22年 大商大総合経営学部  
商学科卒  
奈良県在住

所としても欠かせません。私はいろんな経験をして、いろんな人たちと出会いました。それが大きな財産だと、つくづく思います。一方で、現代社会は男性主体で構成されているため、私はこのシステムを変えるべきと職場で若い世代に話しています。例えば、定時に仕事を終えること。残業をするのは美德ではなく、時間内に終わらせる能力をつけるべきだと。早く帰宅して家族や自分の時間を大切に。社会に個人が合わせるのではなく、女性にも男性同様の能力が求められていますが、トキを大切に、女性の感性を生かし、選択できる社会が理想なんじゃないでしょうか。これを私の使命と受け止めて、実践していきます。

**南:**とりあえず、私は大野さんのように寝る間も惜しんで看護の勉強に頑張ります(笑)。2020年の東京オリンピックでの大商大生の活躍も期待しています(笑)。

——今日はお忙しい中、ありがとうございました。

聞き手: 神戸直樹

(校友会常任理事・編集委員)



# 各拠点が自立しつつ、 要所で団結して活動中



愛媛県支部は、平成22年に設立し、6年目を迎えました。設立時から縦と横のつながりが駆使され、今なお活動の原動力として発揮されています。当時のエピソードや今後の展望など、和やかなムードの中で語り合っていました。  
聞き手：宇野幸三副会長、竹内行弘常任理事

## 山下支部長が 校友顕彰を受賞

山下：実は、大商大を卒業後、仕事に追われる毎日で大学とはほとんど縁がありませんでした。校友顕彰を頂くためキャンパスを訪れたのが何十年かぶり。ずいぶん様変わりしていて、新鮮でした。

宇野：校友顕彰というのは、卒業生のうち、大きく社会貢献された方を称えるための制度で、校友会からも推薦させて頂いています。当時、山下支部長は、全国展開しているホームセンターのDCMダイキ株式会社代表取締役社長として活躍されていて、その実績が顕彰にふさわしいとなったんです。

山下：以前から「商大」の出身と言っていたのですが、愛媛県で「しょうだい」出身と言うと「松大」と勘違いされて、松山大学出身だと思われていたようです(笑)。この顕彰で大阪商業大学出身だと分かって頂き、地元の経済界の皆さんは「あれ、大商大だったの?」とびっくりされていました(笑)。

つい先日、他大学の卒業式に出席しました。卒業生には、母校を有名にするのは学校の努力ではなく、卒業生の頑張りだと伝えました。私も校友顕彰に選んで頂き、少しは大商大に貢献できたのではないのでしょうか。

## 県内を3地区に分け それぞれの範囲内で活動

山下：その校友顕彰の受賞の際、校友会の正会長・副会長から「ぜひ愛媛県にも支部を」というお話がありました。賛同はしたものの、卒業生の現住所がほとんど分らない。そんな時に、工藤さん(現事務局)からご連絡がありました。

工藤：私には、京都支部経由で宇

野副会長から支部設立の打診がありました。自信はありませんでしたが、山下さんが支部長を引き受けてくださったので「よしやるう!」と発奮したわけです。

工藤：設立すると、愛媛県を3地区に分け、東予地区を塩崎さん、中予地区を木村さんと中村さん、南予地区を河野さんと新さんなど担当制で準備をお願いしました。皆さん快く引き受けて頂きました。

塩崎：私は工藤事務局長の後輩ですから、お話を頂いたら「はい」としか言えません(笑)。もちろん支部設立のために協力したかったので、東予地区はまず元剣道部のつながりで情報を集めていきました。

中村：私も塩崎さんと同じで工藤事務局長の後輩ですから、頼まれたらイエスしか言えない立場で(笑)。

木村：中予地区ではすでに活動があり、それを発展させるような感じで進められたので意外と苦労しなかったように思います。

河野：私は南予担当です。皆さん素晴らしいばかりで、事務的なことは新さんに任せっ放して(笑)。

新：私も南予担当です。工藤事務局長と同じ下宿で暮らした後輩です(笑)。支部設立のお話を頂いた時、相談した中のお一人で、愛媛県警に勤められた井上先輩のお力添えが大きかったですね。県内の卒業生のことを大変よく御存知だったので、多くの人に参加の声掛けをして頂きました。すでに、支部設立の気運が高まっていたんでしょね。その後押しをしたのが工藤事務局長からの要請でしょうね。

工藤：設立から第1回の総会をするまで、1年半くらいかかりましたが、みなさん、無理をせず準備してくれましたおかげです。

## 拠点内の活動だけでなく 拠点同士の交流も盛ん

工藤：愛媛県支部の素晴らしいところは、県内の隅々にまで校友会の理念が浸透していることだと思います。

各拠点がうまくなつがっている感じはあり、何か課題があると、すぐ集まってくれま

す。各地区の個性はあるものの、担当者間で上手に連携を取り合ってくれています。

吉弘：毎年、支部の広報誌も発行しています。私が広報担当で、一人でも多くの会員が増えることを願って、県内の隅々まで走り回って取材しています。この広報誌(小販)を読んで頂けたら、アクティブな愛媛県支部を知って頂けるものと自負しているんです。

工藤：吉弘さんは、現地まで自費取材に行っていて、その熱意やボランティア精神には頭が下がる思いです。ありがとうございます。

木村：最近の活動で特徴的なこと、最も記憶に残っているのは、他校の校友会が集まるソフトボール大会に参加したことですね。毎年秋に18ほどのチームが参加する大会で、親交を図ることができました。試合結果は言いませんが(笑)、入場行進は東京大学と京都大学に挟まれて、胸を張って歩きました(笑)。

河野：南予地区もムードは良く、先日はフグ会で盛り上がりましたよ(笑)。



各大学校友会愛媛県支部対抗親善ソフトボール大会

工藤：愛媛県支部は、行動派が多い。先日も広島で行われた大商大ボクシング部の全日本王座決定戦の応援に有志で行きました。全国から40名くらいの校友が駆けつけ、試合もさることながら夜の打ち上げも大盛り上がりでした(笑)。もともと体育会系クラブを中心に会員が多く集まった支部なので、スポーツに関するイベントは特に意欲的です。今年に関西六大学野球秋季リーグ戦応援ツアーを企画しています。

一方で、現在の会員が男性だけなのが少し気がかり。女性の積極的な入会も促進したいと考えています。

## 若い世代に 校友会を活用してほしい

中村：それにしても校友会の意義は、素晴らしい。例えば、愛媛県内であってもダイキ社長だった山下支部長の名前は以前から存じていましたが、こうやって一緒に母校のために活動できるとは思いませんでした。これまでもさまざまな諸



ユニフォーム

先輩方にお会いし、アドバイスを頂いたり相談に乗って頂いたりしています。ですから、後輩たちには、ぜひ校友会を活用して、人脈を広げたり人生の助言を受けてほしいと言いたいですね。

そのために現在、20歳代から30歳代の会の発足を計画中です。発足までお手伝いをして、あとは本人たちが自主的に運営していただければ…そして、年に1回くらいは一緒に総会を開きたいと思っているんですよ。

竹内：後輩と言えば、愛媛県とは、大商大と学生の就職に向けたキャリアサポートの提携をしています。愛媛県支部としての協力はいかがですか?

工藤：その件は学生生活課長の土橋さんからお話を頂きました。支部としては、学生のために全面協力をするスタンスです。各地区を通じてルートがあるので、フル活用しますよ。就職協定の見直しもあったので、なるべく早い時期にアプローチして頂きたいですね。そうすれば、よりチャンスが広がります。せっかくUターン就職を希望している大商大生がいるのなら、その思いを高いレベルで叶えてあげたいものです。

宇野：本日はありがとうございました。ますますの奮闘を期待しています。(収録：平成27年3月27日)

〈詳細はFacebookより〉  
大阪商業大学 校友会 愛媛県支部を検索



### 愛媛県支部出席者



支部長  
山下 雄輔  
(昭和42年卒)



事務局長  
工藤 憲治  
(昭和48年卒)



南予地区事務局  
新 和久  
(昭和49年卒)



副支部長  
河野 廣栄  
(昭和47年卒)



広報部長  
吉弘 輝男  
(昭和55年卒)



中予地区事務局  
木村 眞治  
(昭和53年卒)



会計  
塩崎 研二  
(昭和52年卒)



事務局次長  
中村 泰三  
(昭和56年卒)

### 校友会本部出席者



副会長  
宇野 幸三



常任理事・編集委員  
竹内 行弘



## 三重県支部

### 三重県支部ができて35年!!

三重県支部 事務局長 田邊 裕雄(昭和40年卒)



校友会三重県支部は、昭和55年、新聞広告の代理店に勤務されていた一人の商大卒業生が、卒業生名簿を片手に「我が青春の母校」への名刺広告掲載の依頼営業のため、三重県内を歩き始めたことが校友会発足の口火となりました。

校友会三重県支部は、昭和55年、新聞広告の代理店に勤務されていた一人の商大卒業生が、卒業生名簿を片手に「我が青春の母校」への名刺広告掲載の依頼営業のため、三重県内を歩き始めたことが校友会発足の口火となりました。

当時、学園創立50周年、大学開設30余年が経過し、卒業生も社会の各分野で活躍されていました。三重県内においても多くの仲間が、個人的な繋がりの親睦を

談役)を中心に20数名の有志が集まり同年、伊賀商大会が開催され、後に三重県校友会を設立していただきました。

設立後は、500名余の会員が登録されておりながら、まだまだ交流が浅いことに役員一同責任を感じております。会報の発送、記念事業に伴う総会等の開催、懇親会、年2回のゴルフコンペなど継続した事業を会員の皆様のご協力を得ながら推進しています。

同学同門の交わりを通して地域社会において会員間の交流、親睦、友情はハイテクの時代になってもかけがえのない、時間や金銭に代えがたい貴重な財産です。

会員の皆様におかれましては是非この機会に一人でも多くの仲間を増やしてほしいと願ってやみません。特に、新たに入っていたる若い皆様にご期待申し上げます。

【支部連絡先】 〒518-0823 三重県伊賀市四十九町1704 西岡幸彦様方 TEL.0595-21-3556

## 関東支部

### わが支部が出来て52年目

関東支部長 畑中 健一(昭和45年卒)

私ども大阪商業大学校友会関東支部は平成25年には創設50周年を迎え今年で52年目を迎えます。活動を盛んにしようと校友の皆さんも活発に活動に参加いただいております。

その活動はさまざま、学び、情報、娯

楽(趣味)など普段の仕事の場では得ることの出来ないものを発信し、同じ大学で過ごした友として支えあってゆく場を作りだしてゆくことを目的としています。毎月第二木曜に開催される「飲みながら勉強会(二木会)」、母校のスポーツ観戦な

どのレクレーションや親睦旅行等。全国の経営者を対象とした「大商大 御厨倶楽部」、弁護士、会計士、税理士等の方々が交流する「土業の会」などの活動を通じて校友のつながりを交流を深めています。さらには年2回の機関紙「みくりや号」を発行し活動の状況等を発信しております。今後このような関東支部の活動を知る・聞く・体験していただくことにより商大校友のパワーを強めてゆき大阪商業大学の発展につながればと思います。現在キャンパスで学ばれている在学生の皆様にも関東で就職や転職の際にはぜひご連絡いただきわたくしたちの活動にぜひご参加いただければと思います。

今後の大阪商業大学の発展と全国でご活躍されている校友の皆様のご活躍をお祈りいたします。



【支部連絡先】 〒131-0031 東京都墨田区墨田1-4-2-203 武井様方 大阪商業大学校友会 関東支部 TEL.050-3698-6768

## 北摂支部

### わが北摂支部誕生から18年

北摂支部 副支部長 谷林 喜久治(昭和40年卒)



月日の経つのは早いもので当支部が発足して18年が経過しました。発足当時、現支部長の原文隆氏を中心に各地区より数名の世話人により発足準備会を設置いたしました。地域は兵庫県川西市、猪名川町に加え大阪府豊能郡と府県を跨ってのエリアになりました。校友会本部より卒業生の資料提供を受け、一人ひとりに呼びかけ約200名の組織となりました。

当支部の発足以来の目的は、母校の発展に寄与することを目指しており、母校の開催行事には積極的に参加すると共に、支部にあっては、会員相互の親睦を図り

地域に貢献できることを目標に活動を行っています。

既報の「校友」でも紹介しておりますが、当支部には川西市長大塩民生氏(S44年卒)並びに、川西市議会議員久保義孝氏(S44年卒、校友会常任理事)が川西市政の中枢で活躍され、市民の絶大なる支持を得て行政全般にわたり奮闘されております。又、歴史研究者として活躍されている服部善彦氏(S32年卒)は「戊辰戦争・鳥羽伏見之戦跡をあるく」を執筆され幕末から明治にかけて長年の研究の成果をまとめられました。更に猪名川町には支部長の原文隆氏(S31年卒)が長圓山雲覚寺の住職の傍ら地域

の要職に携わり活躍されております。

当支部の課題は、役員世代交代が図れていないことです。会員層もほとんどが60才代以上で、早急に若返りを図る必要に迫られております。それには支部として魅力ある事業を企画し、楽しく集える支部活動を展開することであると考えます。



川西市を走る能勢電鉄 季節限定のイベント電車 1/28

【支部連絡先】 〒666-8501 川西市市役所議会事務局内 久保義孝様方 TEL.072-740-1111 FAX.072-740-1318

## 富山県支部

### かけがえのない地域の自然環境を次世代に伝えていくことが私たちの使命

針田 正尚 富山県支部会員(昭和53年卒) 富山県支部対談者 横田 安弘支部長(昭和40年卒)



横田安弘支部長(以下横田): こんにちは。今回は、北陸地方出身の学生さんに就活の参考にしていただきたく、富山県の産業界で若手経営者のリーダーとして活躍中のクリーン産業(株)針田正尚社長さんの会社を訪問させていただきました。早速ですが卒業年度と学生時代の思い出などを聞かせてください。

針田正尚(以下針田): こんにちは。私は昭和53年度卒業生になります。学生時代は、「よく遊び、よく遊べ??」友達と夜遅くまで語り合いました。(笑)

横田: 針田さんの会社の業務内容を教えてください。

針田: 私たちの仕事は、「3R Reduce(抑制)・Reuse(再利用)・Recycle(再生利用)」をキーワードに環境と経済が両立した高度循環型社会の形成をめざし様々な分野でリサイクルに取り組んでいます。

横田: 具体的にどのような取り組みをしているのか教えてください。

針田: 単に廃棄物の収集運搬にとどまらず、私たちが「マザーワーク」と呼ぶリサイクルプラントにて、収集した廃棄物を丁寧に仕分けをすることにより新しい原料として生まれ変わらせています。地球温暖化防止のためのCO2削減に石油代替燃料のBDF製造、サーマルリサイクル品の固形燃料RPF製造、食品リサイクル法に合致した生



ごみによる発電、堆肥製造を行っています。横田: ありがとうございます。最後に在校生に向けてのメッセージはありますか? 針田: 本年北陸新幹線が開業し、地方はますます若くて柔軟な思考と行動力のある在学生諸君のような力を必要としています。多くの若者が北陸の地にUターンやIターンしてくれることを期待しています。(詳しくは、弊社HPをご覧ください。)

【支部連絡先】 〒939-2649 富山県富山市婦中町余川116 (株)藤井産業内 藤井泰三様方 TEL.076-469-3007 FAX.076-469-3536



## 京都府支部

### わが支部ができて10年目

京都府支部 副支部長 三崎 政直(昭和49年卒)



京都府支部は今年発足十周年を迎えました。手探りの中、卒業生の調査と掘り起しを重ねながら少しずつ会員も増え、近年は若い世代の顔も多くなってきました。

支部総会に加え、地区の活動も始まる

など校友会の連帯意識も高まりを見せています。

支部活動の重点的な取り組みの一つとして、商大の体育クラブ支援を積極的に行っています。特に一昨年は野球部が関西六大学において21年ぶりの優勝を果たしましたが、毎試合球場へ駆けつけ、さらに、31年ぶり出場の明治神宮大会へも応援に参加致しました。

その他、サッカー、空手、日本拳法、ボクシング、ウエイトリフティング、柔道などにも支援を行っており、新聞等に大商大の記事を見つけると我が事のように嬉しく、以前のように関西はもとより、全国レベルのクラブが数多く復活することを願っております。

さて、日本創生会議による人口減少と消滅可能性都市の試算発表以後、人口減少を食い止めるべく「まち・ひと・しごと

創生総合戦略」の中で地方再生が強く求められています。

少子化とともに地方は高齢化や人口減少など活力を失いつつあります。

このような状況を考える時、大学は優秀な学生を育て地方のニーズに応え、地方はもとより日本の構造的な危機を乗り越える社会的責任が問われています。我が大阪商業大学は、その先頭に立つ覚悟を持ち、学生諸君が将来全国各地で活躍されんことを期待します。



【支部連絡先】 〒612-8016 京都府京都市伏見区桃山町養齊21-20 小川敬雄様方 TEL.075-612-1580 FAX.075-612-1580

## 石川県支部

### 大阪商業大学校友会 石川県支部の現況

石川県支部 幹事 番田 穰(昭和40年卒)



石川県は北陸新幹線(3月14日)開業で盛り上がっている。関西圏

大学への進学者減少の危惧があるが嬉しい事である。校友会石川県支部は創立9年目になり順調・着実に前進しています。これも偏に廣澤郁夫支部長の指導力と精力的な牽引、円満な人柄によるものと頭の下がる思いである。途中紆余曲折もあったが平成20年支部規約も決め縦長の県内を能登・金沢・加賀の3支部に分け3副支部長を配置し会員参加の拡大を図っている。交通の便や過疎等の問題で困難もあるが役員の知恵で支部発展を考えている。年一回総会を開催し会員同志の情報交換・交流を深め大学・校友会本部の情報や

審議をしている。

平成24年より富山・福井との三県支部役員交流会も開催、本年27年2月には三県合同の新年会も開催したところ。平成26年の総会には大学側や校友会本部に加え、富山・滋賀・京都の支部長、関東・岡山の役員の方々に遠路から御臨席頂き交流を深めることが出来ました。厚く御礼申し上げます。

今後の課題として如何に400余名の会員がより多く集い交流を深められるか、又、母校に如何様に貢献できるかであろう。

大学並びに校友会の更なる発展と校友会会員の皆様の御健勝と御活躍を御祈り申し上げます。



【支部連絡先】 〒920-0902 石川県金沢市尾張町1-1-14 廣澤郁夫様方 TEL.076-231-4446 FAX.076-262-0144

## 高知県支部

### わが支部が誕生して9年目

前高知県支部長 川崎 洋輝(昭和41年卒)

当支部は平成19年6月9日に卒業生281名で四国初の支部として発足し、以来、早いもので丸8年が経過しました。設立以降は年1回の定期総会、講演会、新年会、支部会報発行および親睦イベント等を通じて会員相互の情報交換を行い、交流の輪を着実に広げてきました。

この8年間でビジネス面あるいは趣味

の世界における会員の交流が浸透してきて、支部組織の存在が非常に有用になってきております。就職やビジネスチャンスの提供等の事例も生まれています。

支部活動については、このように順調に推移してきましたが、会員数の伸び悩みという懸案も抱えています。新卒者の大半が県外で就職するためUターンが少ない

ことや、転勤による県外転出等が要因となっています。地域経済の衰退が背景にありますので、根本対策として、県、市を挙げての産業振興政策の早期実現を期待しているところです。

支部が誕生して9年目を迎えますが、今後も「継続は力なり」をモットーに活動を進めてまいります。特に次世代を担う平成年代卒業の会員に多数参加していただき組織の活性化を図りながら取り組んでいこうと考えております。

在学生の皆さんは卒業後には職業人、社会人として新たな未知の世界で活動していくこととなりますが、その際には是非、各地区の校友会支部に参加頂き、業種、年代を超えた会員間の交流を通して校友会組織の繋がりによるメリットを享受していただきたいと思っております。



【支部連絡先】 〒781-8104 高知県高知市高須1-18-3 岩井貞雄様方 TEL.088-882-1000 FAX.088-882-1117

## 広島県支部

### 支部設立6年目を迎えるにあたり

広島県支部長 渡辺 高守(昭和49年卒)



我が広島県支部は、今年で設立6年目を迎えました。設立の経緯ですが、7年前、硬式野球部、自動車部、サッカー一部OBの方々が中心となり、設立準備委員会を立ち上げられ、1年間の準備期間を経て、平成21年10月25日に、設立総会

が開催されました。私は、現在、3代目の支部長を務めていますが、現在の県支部の土台を築き上げられた、初代支部長、2代目支部長、準備委員会の皆様の努力のおかげと感謝しております。

現在の活動は、西条酒祭り等の地域イ

ベントへの参加、校友訪問、母校訪問等を通じ、校友との情報交換、交流を深めながら徐々にではありますが、校友の輪を広げているところであります。県内には、千人を超える校友がおられますが、まだまだ、全ての校友の近況がつかめてないのが現状です。

今後は、県支部の存在さえ、ご存じない校友もおられますので、校友会広島県支部の存在を、あらゆる機会を通じて周知していき、後輩がいつでも気軽に、入会できるように県支部を存続していきたいと思っております。

また、校友会本部、他支部、大学との連携を密にして、支部会員へ大学情報、校友活動情報を提供していき、校友会、大学の発展に寄与していきたいと考えております。

【支部連絡先】 〒739-2101 広島県東広島市高屋町造賀5799-1 渡辺高守様方 TEL.082-436-0295



## 岡山県支部

### わが支部が誕生して5年目

岡山県支部 副支部長・元津山市議 米井 知博(昭和46年卒)

岡山県支部は平成22年5月8日設立で該当会員数978名、支部長永田嘉男(昭和40年卒)で発足しました。同じ年に愛媛県支部が設立されています。

平成26年11月2日「集い」第5回総会は

アークホテル岡山で来賓を含めて25人参加でした。例年通り前半総会を開催し活動報告、会計報告を承認の後、次年度活動計画及び支部役員を選任が承認されました。

集いの部では来賓挨拶に続き、大商大

学院博士課程修了の大野慶子さんの「地域資源の活用による街づくり」と題した講演を聞きました。

今年第1回おかやまマラソンが開催されるに当たり、岡山県のおかやまマラソン準備委員会事務局の副参事職にある大野慶子さんにマラソン関係の質問もしていました。

懇親会は乾杯の後、岡山在住の歌手「広瀬まみ」さんの歌で盛り上がりしました。

支部の課題は集い、総会の出席者が減っていることです。年2〜3回役員会を開催し協議しながら支部の活性化、会の参加者増を目指して頑張っています。

「平成22年設立総会は来賓を含め25人参加、翌23年2月27日第2回集いには52人参加、24年8月26日第3回集いには37人参加、平成25年11月10日第4回集いには25人参加でした」



大阪商業大学校友会 岡山県支部「集い」第5回総会 平成26年11月2日 於アークホテル岡山

【支部連絡先】 〒703-8267 岡山市中区山崎301-58 永田嘉男様方 TEL.086-276-9054

## 兵庫御厨会

### 『全国教職員の集い』、第1回「全国御厨会」開催

「兵庫御厨会」会長 福田 義道(昭和49年卒)



「兵庫御厨会」は本学を卒業、修了し教育職に携わる者の団体、校友会支部として今年で発足12年目、会員113名で活動しています。

活動の一環として6年前より、高知・岡山・兵庫の三県の教職員の先生方と交流し研修を積み重ねてきましたが、今後は

更に、全国各地の教職員の先生方と、連絡、連携を図りながら絆を深め、更に大学との連携、広報に努め、教員を目指す後輩への研修、助言などを通じた活動を通して、母校発展に寄与できることを願っています。

その中、昨年8月30日、第1回「全国御

厨会」を母校での開催に至りました。

谷岡学長、南方副学長様をはじめ大学教職員、校友会本部宇野、谷口両副会長様のご臨席を賜り、本学卒業の全国教職員(退職者含む)78名の参加のもと、全体会では、ご挨拶に続き、兵庫御厨会、前会長黒瀬氏から、開催に至る経過、趣旨説明を行いました。

続いて、谷岡一郎学長から「大学の展望と御厨会への期待」と題してご講演を戴き、第二部の「情報交換会」で懇親を深め、今後の展望を語り合い、次回開催を楽しみにしながら閉会しました。

今年度は、近畿圏内で、三県交流会を発展させた教職員の集い「御厨会」を開催する予定で準備をしています。日程、会場等が決まり次第、全国教職員の皆様にご案内しますので、是非ご参加賜りますようお願い申し上げます。

【支部連絡先】 〒659-0042兵庫県芦屋市緑町1-1-502号「兵庫御厨会」事務局長 宿南敏行 TEL・FAX.0797-55-1861 携帯.090-2709-7334

## 愛知支部

### 愛知支部 設立7年目の現況について

愛知支部長 石原 孝行(昭和48年卒)

私たちの支部は平成20年に、愛知と岐阜のメンバーで誕生しました。今年で7年

目となります。3カ月に一度幹事会をメンバーの事務所を借りて開催しています。幹事会ではメンバーの近況報告を出席者全員で行い、時として、仲間の悩みを聞くことによって、助けあったりしています。こんなアットホームな愛知支部です。在学生のみならず仕事で愛知又は岐阜で生活することになれば、ぜひ我々の仲間になってください。仕事での悩みや又は私生活での困り事があれば、経験豊かな先輩が多数おられますので、アドバイスをいただけることと思います。年に一度ではありますがゴルフコンペと忘年会を奥様同

伴で開催しております。たいへんたのしい1日をごしております。みなさまの参加

を心よりお待ちしております。



【支部連絡先】 〒474-8651 愛知県大府市横根町名高山55 至学館大学・同短期大学部 気付 教務課 杜下憲央様 TEL.0562-46-1218 FAX.0562-44-1313

## 滋賀県支部

### わが支部が誕生して3年目

滋賀県支部長 亀田 彰喜(昭和46年卒)

滋賀県支部の設立に際しては、最初に数名の卒業生にお手紙を差し上げて、平成23年9月18日に初めて5名が集まりました。その後6回の準備委員会の後、第1回滋賀県支部設立総会を平成24年9月2日(日)に開催いたしました。谷岡一郎学長はじめ高岸暎治会長、宇野幸三副会長のご出席を頂くと共に、大学事務局及び6支部の支部長及び代表の方のご参加を頂きました。当日は、支部長自らが「大学の社会的評価と同窓会の意義」という演題で基調講演を行い、現在の大学の現態と、受験生確保、就職活動の支援の方法と同窓会の役割についてお話いたしました。第2回滋賀県支部総会は平成25年11月30日(土)にびわこ成蹊スポーツ大学教授の望月聡氏(昭和62年卒)に「なでしこジャパンから学んだこと」という演題で講演をしていただきました。望月

氏は滋賀県出身で本学卒業後、NKK日本鋼管サッカー部で活躍された後、コーチとしてロンドンオリンピックで「なでしこジャパン」を銀メダルに導きました。第3回滋賀県支部総会は平成26年10月19日(日)に開催し、当日は滋賀県立大学の亀田滋賀県支部長が「我が子我が孫の教育を考える」という演題で、我が子我が孫にどのような教育を受けさせれば、東大、京大、阪大、滋賀医大などの国立大学医学部に入

学させることができるかについてお話いたしました。今後、滋賀県支部としては、大阪商業大学の入試および卒業生の就職支援等ができればと思っております。



【支部連絡先】 〒522-0026 滋賀県彦根市大堀町577 堤健郎様方 TEL.0749-22-5411



## 福井県支部

### 夢と希望をつなぐ北陸新幹線

福井県支部長 清水 久通(昭和48年卒)

3月14日、北陸新幹線の長野ー金沢間が開通し、東京ー金沢間が2時間28分で結ばれて北陸が都心から近くなりました。開業に合わせて金沢駅前の商業施設が新たにオープンするなど、沿線地域の経済効果が顕著に現れてきています。福井県関係でも金沢ー敦賀間の開業

が3年間前倒しされることが決まりました。さらには2020年の東京オリンピック開催に合わせて福井駅までの先行開業が検討されるなど、新幹線への期待が高まりつつあります。

開業後は大幅な時間短縮効果で多くの観光客が訪れ、観光関連の経済効果

が見込まれます。また、食品の製造業や飲食店などのサービス業、土産物を販売する商工業などにも整備効果が波及することが想定され、若者の流出に歯止めがかかる効果が期待されます。

福井県内の沿線4市(あわら市・福井市・越前市・敦賀市)が一丸となって敦賀までの1年でも早い完成・開業を実現させ、まちづくりプロジェクトを推進して地方再生の第一歩にしてほしいものです。

今年の選抜野球大会は、敦賀気比高校が北陸勢として初の優勝旗を本県にもたらしてくれました。すでに春夏連覇を見据えているナインに負けたくないよう、福井県支部も6月27日の第4回総会に向け躍動したいと思います。

北陸に新風が吹き始めています。



【支部連絡先】 〒918-8002 福井県福井市左内町9-22 清水久通様方 TEL.090-3769-1122

## 沖縄県支部

【支部連絡先】 〒901-2132 沖縄県浦添市伊祖3-3-1 前島明男様方 TEL.098-877-1886 FAX.098-877-1886

### 各支部所在地



時代とともに変化を遂げてきた大商大。その姿を写真で紹介いたします。

## キャンパス今昔

### 「第1グラウンド」

昭和40年代



上写真は昭和40年代の大阪商業大学「第1グラウンド」の様子である。左後方の建物は、昭和10年に建設された大阪城東商業学校(当時)の本館で、現在の谷岡記念館(改築復元前)である。

平成27年



開校当時から長らく土のグラウンドであった「第1グラウンド」は、体育会系クラブの試合や練習に汗を流してきた場所として利用されてきたが、平成26年3月に緑が映える人工芝仕様に生まれ変わった。

Jリーグサッカー場にも採用されているロングパイル人工芝で、選手個々の足腰の負担や表面温度軽減がはかれるという。またベンチや観戦スタンドも併設され熱戦を応援することもできる。

正面入ってすぐ右に見えるこの色鮮やかなグラウンドは、5000人近い在校生が学ぶキャンパスを代表するひとつである。(なお、人工芝化に当たっては校友会も一部支援をいたしました)



近鉄河内小阪駅から徒歩からすぐに、どこか懐かしい造形と近代的な造形の融合した建物が我々を優しく迎え入れてくれます。

## 大阪商業大学新キャンパス 校舎の新築について

大阪商業大学が2019年(平成31年)に開学70周年を迎えるにあたり、学校法人谷岡学園では、近鉄河内小阪駅と東大阪キャンパスを結ぶ中間地点に位置するハウス食品グループ本社(株)工場跡地の敷地面積約2,600坪の土地を取得しました。「世に役立つ人物の養成」という建学の理念のもと「地域に根差し、地域に貢献し、地域に学ぶ」ことを使命・目的として、このほど、この小阪の地で、教育研究・学生支援の一層の充実を図り、地域の期待に応えられる大学を目指した新キャンパス構想を発表しました。

大阪商業大学では近年教育改革を進めております。具体的には、教育課程の工夫(コース編成など)、アクティブ・ラーニング<sup>※1</sup>の全学的な規模への展開、少人数教育の再構築、留学支援策の構築など種々の改革を実行しているところであり、今後もさらに加速させる方針です。

そこで、新キャンパスは「現キャンパスと一体」となって、学生教育を行う場として活用することとし、特に、「学生が地域住民、自治体、企業経営者、町会、NPOなどとの積極的な関係を構築する」ためのラーニング・コモンズ<sup>※2</sup>のスペースを主とした学生自らの成長を図る場としたいと考えています。現在、2017年(平成29年)4月開校を目指し鋭意検討を進めています。

建物は地上4階建て。近鉄河内小阪駅から徒歩から敷地を斜めに通り抜け、現キャンパスとは抜群のアクセスとなっています。学生や地域住民の往来の多い、賑やかな場所となることが予想されています。

1～2階にはアクティブ・ラーニングスペースとしておよそ500坪の広さを有する広大な空間が広がっています。1階は、用途に合わせ自由に利用できるグループスタディエリア、講演会スペースやイベント広場などを備えています。2階は、英会話ブースを備え



特徴的なルーフ形状をもつ建物をバックに、暖かな日差しがそそぐ広い庭園で学生たちが語らいます。



学生や地域の人々が多く往来する賑やかなモールが、新しい建物のメインストリートになります。

たイングリッシュサロン、ファミレス風の家具を導入しリラックスした雰囲気でのミーティングのできるスペースもあります。また、地域住民との交流のための地域交流スペース、創業支援を行うインキュベーション<sup>※3</sup>施設なども揃っています。

3階はより静かな環境を保ちつつも活発な意見交換のできるセミナールーム3室を擁し、また、分割可能な間仕切りを備えたフレキシブルな授業を行える講義室1室を配置しています。さらに全面ガラス張りの特徴的なミーティングルームが斬新な印象を与えます。

4階にはクラブ活動や軽く汗を流したいときに使用できる多目的室とアリーナを設置する予定です。

様々な機能を備えた複合的な施設となっており、革新的な授業展開や地域との交流活動を通して、より一層教育研究の充実化を促進されることが期待されます。



今回の建物で特徴的な、最上階に設けられたアリーナで熱い戦いが繰り広げられます。

- ※1 アクティブ・ラーニング  
教員が学生に一方的に知識を教授する講義型ではなく、学生が主体的に問題を発見し、解をみだしていく能動的な学習方法の総称。
- ※2 ラーニング・コモンズ  
学生の学習支援を意図して大学図書館等に設けられた場所や施設。自習やグループ学習用の家具・設備が用意され、相談係がいる開放的な学習空間。
- ※3 インキュベーション  
設立して間がない新企業に国や地方自治体などが経営技術・金銭・人材などを提供し、育成すること。

新キャンパス校舎概要  
規模：地上4階建て、鉄骨造  
延床面積：約8,000㎡ 竣工日：2017年2月(予定)  
建築面積：約2,800㎡ URL：<http://ouc.daishodai.ac.jp/>

## 親子3世代表彰について

この度、大阪商業大学では、親子3世代(祖父母、父母、孫<sup>※</sup>)にわたり本学に入学された方々に対して、大阪商業大学への愛校心を涵養する制度として「親子3世代表彰制度」を設けました。校友会員の皆様の中に、大阪商業大学および大阪城東大学を卒業され、3世代まで大阪商業大学を卒業(在籍)されておられましたら、

学生生活課までご連絡ください。ささやかではありますが、感謝の意を表したく思います。  
(※3世代は原則、直系とします。退学・除籍者は対象となりません)  
学生生活課へご連絡ください。

連絡先

大阪商業大学 学生生活課 TEL.06-6782-2297 FAX.06-6781-8438  
E-mail:oucsss@oucow.daishodai.ac.jp



## 返還猶予制度のご案内

～日本学生支援機構奨学金を利用していた卒業生のみみなさまへ～

母校在学中に日本学生支援機構奨学金を利用していた卒業生のみみなさまにおかれましては、現在返還中の方、すでに完済された方さまざままでいらっしゃると存じます。

所定の手続きを経て、返還猶予が適用されますと、延滞金が課されたり、法的措置が取られたりすることはありません。

現在、奨学金を返還中のみみなさまは、返還継続が困難な状況に陥った場合、所定の手続きをすることで返還が猶予できる制度や、1回あたりの返還額を減額できる制度があることをご存知でしょうか？

もし、現在、奨学金の返還継続が困難な状況におかれているにも関わらず、返還が滞ったままになっている方がおられましたら、ぜひ、返還猶予の手続きについて日本学生支援機構へご相談くださるようご案内申し上げます。

問合せ先

奨学金返還相談センター 返還ナビダイヤル  
TEL.0570-666-301(8:30～20:00) 一部携帯電話・IP電話等から 03-6743-6100

日本学生支援機構ホームページ <http://www.jasso.go.jp>(※手続きに必要な用紙のダウンロードもできます。)

26年度の就職・雇用状況につきましては、25年度から引き続きアベノミクスの効果で大手はもちろん中堅中小企業についても人手不足という状況が続き、大卒求人倍率は前年を若干上回りました。本学も前年を上回り10倍を超え、一人ひとりの学生の選択肢の幅が大きく広がりました。27年度につきましても、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催の準備、リニア中央新幹線の延長、南海トラフ巨大地震対策、インフラ整備など建設業を中心とした雇用が更に増加することと予想しています。

また、27年度より大学生を対象にした企業の採用ルールが大きく変更され、企業側の広報活動の開始時期を3年生の3月、採用選考活動の時期を4年生の8月に改定されました。しかしながら実態は、一部の企業ですでに採用活動を終了している企業もあり、専門誌によると内々定出しのピークは4年生の4~5月と報道されています。

学生動向については、景気が回復すればするほど有名一流企業へのエントリー、いわゆる「ブランド志向」傾向になっています。自分のやりたいこと、やれることが大手企業であれば問題はないのですが、就社活動は早期離職に繋がる可能性が非常に高いと言われてます。要因のひとつに保護者の過度な関与が考えられ、四年制大学を卒業するのだから一流企業に入社してほしい親の強い思いが影響しています。もともと日本の産業構造は製造業を中心とした「モノづくり日本」、99%が中堅中小企業のため、学生はもちろん保護者の方に対してキャリアサポート室(以下当室)では「中堅中小企業の魅力」を伝え、理解してもらえよう様に様々なプログラムを展開しています。

一方、企業の求める人材は、社会人スキルよりも「人間性」「その企業への熱い思い」の二つが群を抜いています。このことから採用試験の内容にも若干変化が見られ、グループディスカッションや数度にわたる面接など学生の中身をじっくり評価(人物重視)するようになりました。

そこでキャリアサポート室では、まず「自己理解」に多くの時間を掛け、「自分って何者?」「なにがしたいのか、やれるのか」を徹底的に考えます。そして「業界企業・職種の研究」に励み、選択肢の幅を広げていきます。自分の社会的強みが活かせる場所はどこのか?に気づくことを重点に指導を行ってきました。同時に、求人獲得に向けての施策につきましては、企業セミナーを中心に企業と学生の出会いを様々なコンセプトで学内において開催いたしました。Uターン就職支援では、愛媛県、香川県と就職支援協定を締結し、支援体制の更なる強化を図り、次年度についても他の中四国、北陸地方の自治体と支援協定締結に向けて活動していきます。その折には、校友会各支部との連携なくしては進まないと考えていますので、よろしくお願いたします。

最後に、建学の理念を具現化しました一つの「楽しい生き方」の実現に向けて、当室では「楽しく働く」にはどのような就業場所が合っているのか、一人ひとりの学生に対し、親身になって対応して参ります。今後とも校友会のご支援賜りますよう何卒、よろしくお願申し上げます。

卒業生数(前年)	915名(905名)
就職内定率(前年)	95.6%(95.3%)
進路内定率(前年)	95.7%(96.0%)

出身県別2016年3月卒業予定者数	
北海道	3
青森県	0
岩手県	0
宮城県	0
秋田県	1
山形県	1
福島県	1
茨城県	1
栃木県	0
群馬県	0
埼玉県	0
千葉県	3
東京都	2
神奈川県	0
新潟県	1
富山県	5
石川県	7
福井県	9
山梨県	0
長野県	0
岐阜県	7
静岡県	3
愛知県	3
三重県	11
滋賀県	23
京都府	38
大阪府	492
兵庫県	153
奈良県	104
和歌山県	53
鳥取県	12
島根県	7
岡山県	18
広島県	14
山口県	4
徳島県	9
香川県	19
愛媛県	25
高知県	17
福岡県	4
佐賀県	0
長崎県	2
熊本県	5
大分県	0
宮崎県	5
鹿児島県	1
沖縄県	2
外国	5

平成27年度入学生 都道府県別状況					
	男子	女子	総数		
北海道		1	1	滋賀	24
青森				京都	38
岩手				大阪	546
宮城				兵庫	110
秋田				奈良	98
山形				和歌山	54
栃木				鳥取	9
福島				島根	8
茨城	1		1	岡山	25
栃木	1		1	広島	13
群馬				山口	6
埼玉	1		1	徳島	5
千葉	1		1	香川	10
東京	3	1	4	愛媛	30
神奈川	2		2	高知	19
新潟	2		2	福岡	2
富山	2		2	佐賀	
石川	9		9	長崎	1
福井	7	2	9	熊本	
山梨				大分	4
長野				宮崎	1
岐阜	3	2	5	鹿児島	1
静岡	3		3	沖縄	2
愛知	5		5	海外	1
三重	16	3	19		

都道府県別 在籍(2~4年)状況 (H27.4.1)					
	男子	女子	総数		
北海道	1	2	3	滋賀	60
青森				京都	104
岩手				大阪	1280
宮城				兵庫	335
秋田		1	1	奈良	262
山形				和歌山	137
栃木		1	1	鳥取	30
福島	1		1	島根	26
茨城	2		2	岡山	63
栃木				広島	25
群馬				山口	10
埼玉	2		2	徳島	20
千葉	4		4	香川	44
東京	4	1	5	愛媛	54
神奈川	1		1	高知	42
新潟	2		2	福岡	10
富山	8	3	11	佐賀	4
石川	14	1	15	長崎	10
福井	31	3	34	熊本	10
山梨				大分	1
長野	3	3	6	宮崎	6
岐阜	12	2	14	鹿児島	2
静岡	4		4	沖縄	2
愛知	7		7	海外	12
三重	34	9	43		

合計…(男子)1,063 (女子)158 総数/1,221名

合計…(男子)2,679 (女子)439 総数/3,118名

# 昭和のゲーム大集合展

昭和90年にあたる今年、展示内容を一つの時代に絞り、昭和をテーマとし、昭和の時代に作られた様々なゲームを展示します。昭和という激動の時代に、どのようなゲームがありどのように変わっていったのか、昭和のゲームの果たした役割を考える昭和の一大回顧展となります。また、昭和のゲームが体験できるワークショップや、関連講座の開催等、展示物への理解を深めていただくとともに幅広い年齢層が交流できるイベントも開催します。



平成27年7月4日(土)~平成27年8月8日(土) **入場無料**

午前10時~午後4時30分

大阪商業大学学術センター3階 アミューズメント産業研究所 展示室(東大阪市御厨栄町4-1-10)

## 関連講座

①7/11(土)「株式会社ハナヤマと昭和の名品」

坂本忠之(株式会社ハナヤマ R&D部マーケティング課リーダー)

②7/18(土)「昭和のゲームを未来に伝える」

岸 昭仁(駄菓子屋ゲーム博物館 館長)

③7/25(土)「昭和のゲームのウソ・ホント」

高橋浩徳(アミューズメント産業研究所 研究員)

④8/8(土)「昭和のゲームで遊んでみよう」

高橋浩徳(アミューズメント産業研究所 研究員)

※講座は申込制で、学内の会場にて開催します。



当研究所は日本国内外のアミューズメント産業全般に関する研究を多面的に行う日本で最初の大学研究機関です。当研究所では、「開かれた大学活動」及び地域振興の一環として、収集した研究所所蔵資料を広く一般に公開するため、毎年約1ヶ月間、特別展示を企画・開催しており、今回は「昭和のゲーム大集合」と題し開催するものです。

主催:大阪商業大学アミューズメント産業研究所 後援:東大阪市、東大阪市教育委員会、東大阪商工会議所

# それいけっ！ 運動部

## 全日本大学野球選手権8強

### 硬式野球部

去る6月8日から、第64回全日本大学野球選手権大会(会場 明治神宮野球場・東京ドーム)が開催され、関西六大学野球春季リーグを制した(10勝1敗、勝ち点5)硬式野球部(富山陽一監督)が24年ぶり7回目の出場を果たし、ベスト8の戦績を収めた。

圧倒的な戦績でリーグ戦を勝ち抜いた大商大は、1回戦で西日本工大(九州地区)に4対1で勝利。続く2回戦では、大阪体育大(阪神地区)に6対3で勝利。6月11日に行われた準々決勝では、前年度準優勝の神奈川大(神奈川地区)と対戦。3対3で迎えた延長10回表タイブレークから3点を奪われ、その裏2点を返すも5対6で惜敗した。

残念な結果に終わったものの32年ぶりの8強入りは見事。引き続き、秋季リーグでの活躍にも期待が寄せられています。

回	年	回戦	スコア	対戦相手	回	年	回戦	スコア	対戦相手
24	1975	1回戦	7〇〇	高千穂商科大	31	1982	1回戦	2〇〇	福井工大
		準々決勝	6〇〇	九産大			準々決勝	3〇2	千葉工大
		準決勝	2〇1	八幡大			準決勝	2〇9	法大
		決勝	0〇1	駒大			1回戦	4〇〇	北工大
25	1976	1回戦	8〇3	千葉商科大	32	1983	準々決勝	1〇4	近大
		2回戦	2〇1	関東学院大			1回戦	4〇〇	徳山大
		準々決勝	5〇2	法大			2回戦	1〇6	九州国際大
		準決勝	4〇2	駒大			1回戦	4〇1	西日本工大
28	1979	決勝	1〇2	東海大	64	2015	2回戦	6〇3	大体大
		決勝	2〇5	八幡大			準々決勝	5〇6	神奈川大

## 裏方に徹し、生涯スポーツ功労者に

### 吉田氏

このほど、文部科学省「平成26年度生涯スポーツ功労者」のひとりとして校友・吉田房彦氏(昭和10年生まれ、昭和34年卒)が表彰された。この表彰は、引き続いて10年以上、スポーツの普及奨励に貢献し、地域におけるスポーツ振興に顕著な成果や指導に尽力した者に授与されるもので、吉田氏は関西の卓球界を60年にわたり裏方として支え続けた貢献により選ばれた。

大商大で卓球部に入部と同時にマネジャーに任命され、以来、関西学生卓球連盟のスタッフの一員として運営面に尽力。社会人になってからも国交回復前の日中交歓卓球大会や世界卓球大阪大会への協力など連盟で成し遂げた仕事は枚挙にいとまがない。連盟での活動をきっかけに、理事長、会長を務めるまでになり、現在は相談役として籍を置き、後進の指導に当たられている。

今年、傘寿(80歳)を迎えられるのを機に自叙伝「いのちの炎」(卓球王国刊)を上梓。学童集団疎開の体験や就職、転職、ボランティア活動など決して平坦ではない人生を描かれている。

## 2015年度 主なクラブ戦績

■ウエイトリフティング部				
第61回全日本学生ウエイトリフティング個人選手権大会	男子 56kg級	7位	守安 暁紀	
	男子 77kg級	5位	土本 貴大	
	男子 105kg級	7位	高村奈央稀	
第27回全日本女子学生ウエイトリフティング選手権大会	女子 58kg級	3位	岡本 唯衣	
	56kg級	優勝	守安 暁紀	
	62kg級	優勝	今川 祐示	
	62kg級	準優勝	岡田 樹	
	69kg級	準優勝	安井 悟	
	77kg級	3位	北田 翔平	
	85kg級	3位	須藤 匠海	
	85kg級	4位	尾崎 太悟	
	105kg級	準優勝	高村奈央稀	
第31回関西学生選抜ウエイトリフティング選手権大会	105kg級	5位	松浦 真実	
	105kg級	6位	瀬戸川 柊作	
	女子 58kg級	5位	岡本 唯衣	
	■空手道部			
	第49回関西学生空手道個人選手権大会	男子組手競技-60kg級	ベスト16	山下 京佑
		男子組手競技-75kg級	ベスト8	市本 寛
男子組手競技-75kg級		ベスト16	溝口 誠	
男子組手競技+75kg級		優勝	溝口 弘樹	
第53回西日本大学空手道選手権大会	男子団体組手	3位	—	
	優秀選手賞		飯作雄太郎	
■硬式野球部				
優勝				
最優秀選手賞 太田 光				
最優秀投手賞 岡田 明文				
首位打者 吉持 亮汰				
ベストナイン(三塁手) 日下部 光				
ベストナイン(遊撃手) 吉持 亮汰				
ベストナイン(外野手) 新谷 承基				
ベストナイン(指名打者) 滝野 要				
■サッカー部				
第44回関西学生サッカー選手権大会	ベスト16			
■柔道部				
第47回全日本ジュニア柔道体重別選手権大会	男子-55kg級	3位	仲宗根一統	
	男子-60kg級	ベスト8	山藤 明良	
第65回関西学生柔道優勝大会	男子団体1部Bトーナメント	ベスト8	—	
■ソフトテニス部				
大阪学生ソフトテニス大学チーム対抗大会	男子団体	ベスト16	大商大Aチーム	
関西学生ソフトテニス春季リーグ戦	男子団体	ベスト16	大商大Bチーム	
	男子2部	3位	—	
■卓球部				
第57回関西学生新人卓球大会	男子団体	ベスト16	大阪商業大学A	
	男子シングルス	ベスト16	和田 将人	
	男子シングルス	ベスト32	月待 輝海	
	男子シングルス	ベスト32	幸松 宏敏	
関西学生卓球春季リーグ戦	男子2部	3位	—	
第84回関西学生卓球選手権大会	男子シングルス	ベスト32	和田 将人	
■バスケットボール部				
第42回関西学生バスケットボール選手権大会	ベスト16			
■バレーボール部				
関西大学バレーボール連盟男子春季リーグ戦	1部	11位	—	
■ボクシング部				
第69回関西学生ボクシングリーグ戦	1部	準優勝	—	
	階級賞(ライトフライ級)		京口 紘人	
	階級賞(ライト級)		田中洸太郎	
	階級賞(ウェルター級)		山田 大樹	
■合気道部				
第35回関西学生合気道競技大会	演武競技 男子対徒手の部	3位	深井 順矢 中嶋 優斗	
■準硬式野球部				
優勝				
最優秀選手 越智 俊貴				
最多勝利投手 越智 俊貴				
阪神六大学準硬式野球連盟春季リーグ戦	ベストナイン(投手)	越智 俊貴		
	ベストナイン(二塁手)	森 太一		
	ベストナイン(外野手)	竹原 魁人		
	本塁打賞	森 太一		

# いまさら聞けない！ 校友会って

## 7年連続で寄付講座を開講 ～今年も校友3氏が登壇～

一般社会人も受講できる、大阪商業大学公開講座「地域社会と中小企業」(4月16日～7月9日まで全12回)が今年も開講された。

18回目を数えるこの講座の中で、『校友会寄付講座』(3回)は、講座のテーマを実施あるいは経験された卒業生(校友)の方に、学生だけでなく一般聴講生を対象に講義していただき、培われた知識や経験などを後輩たちに伝えていただく取り組みです。

平成21年より単位が取得できる正規科目授業として贈られ、今年で7回目の取り組みとなる。

去る4月16日は「中小企業のM&A」について、(有)オフィスユウ 代表取締役社長 石原孝行氏(昭和48年卒/写真上)が講演。自社売却などの変遷を経て、小さい規模ながらも日本全国どこでも清涼飲料水自動販売機が設置できるまでに至った歩みを話された。続く23日には洋紙販売を手掛ける(株)シオザワ 管理本部総務・システム室長 春田丈夫氏(平成9年卒/写真中)が登壇。創業約80年の歴史を糧に、紙の枠を超えて情報文化創造企業として時代のニーズに応える人材像について熱く語ってくれた。

最後の5月7日には「中小企業経営者と信用組合」について両備信用組合理事長の安原秀治氏(昭和50年卒/写真下)が登壇。お客様目線での営業活動の徹底で、貸出量が飛躍的に増加し、全国でも預貸率の改善度ナンバーワンに評価された手腕について話された。

これからも母校への貢献と卒業生と学生との交流を深めるため、寄付講座は継続してまいります。



### これまでの登壇校友

※肩書は当時のものです

平成21年度	ダイキ株式会社 前代表取締役社長	山下 雄輔氏	昭和42年卒業
	兵庫県川西市長	大塩 民生氏	昭和44年卒業
	株式会社池田大佛堂 代表取締役社長	池田 典明氏	昭和48年卒業
平成22年度	株式会社サン浦島 代表取締役社長	吉川 勝也氏	昭和50年卒業
	株式会社宝池自動車教習所 代表取締役	太田 嘉樹氏	平成 8年卒業
	三重県中小企業団体中央会 事務局長	伊藤 良夫氏	昭和50年卒業
平成23年度	藤原産業株式会社 専務取締役	長谷川忠博氏	昭和44年卒業
	株式会社なかむら 代表取締役	中村 泰三氏	昭和56年卒業
	光昭ホールディングス株式会社 代表取締役会長	小川 正夫氏	昭和38年卒業
平成24年度	万定織物株式会社 代表取締役社長	安田 光孝氏	昭和40年卒業
	株式会社ホット沖繩 常務取締役	当山 勝正氏	昭和54年卒業
	社会福祉法人専心会 くすのき保育園 くすのきめぐみ保育園 理事長	今西 博嗣氏	昭和47年卒業
平成25年度	料亭 西玉水 代表	乾 誠治氏	昭和39年卒業
	株式会社藤井産業・株式会社藤井産業運輸 代表取締役社長	藤井 泰三氏	昭和62年卒業
	株式会社菱高SDネットワーク 代表取締役	小川 敬雄氏	昭和47年卒業
平成26年度	京都中央信用金庫 審査部長	百武 健一氏	昭和46年卒業
	合名会社藤室商店 代表社員	藤室 伸一氏	昭和54年卒業
	株式会社内金 代表取締役社長	内田 克宏氏	昭和43年卒業

### ～ お詫びと訂正 ～

会報「第15号」5頁掲載「がんばる校友」におきまして、富山陽一硬式野球部監督の出身校を「自分が出た広島広陵・・・」(左列34行目)と誤って掲載しました。正しくは「太成学院大学高校」です。ここに謹んで訂正致しますとともに、富山監督には深くお詫び申し上げます。合わせて硬式野球部はじめ関係各位の方々にも大変ご迷惑をお掛け致しました。今後、このようなことが無きよう、再発防止に努めます。尚、硬式野球部OB会に対しましても経緯をご説明し、ご理解を頂いております。

(写真は森川数政・硬式野球部OB会会長(左)に経緯説明する宇野幸三・校友会副会長)



平成27年度理事会において、今年度の事業計画等が決定いたしました。尚、今後の詳細につきましては随時ホームページにてお知らせいたしますのでご覧ください。

平成27年度

4月 2日：大阪商業大学 入学式出席  
16日：「寄附講座①」開催  
23日：「寄附講座②」開催  
25日：平成27年度 第1回 常任理事会開催



平成27年度理事会

5月 7日：「寄附講座③」開催  
15日：兵庫御厨会全体会  
31日：広島県支部総会開催

6月 6日：愛媛県支部総会  
13日：平成27年度第1回理事会開催  
20日：高知県支部総会  
27日：関東支部総会 福井県支部総会

7月 校友会会報「校友」第16号発刊

8月 13日～15日：校友会本部夏季休業

9月 17日：大阪商業大学前期学位紀授与式出席 滋賀県支部総会開催予定

10月 30日～11月1日：大阪商業大学大学祭 「第64回御厨祭」 校友会出店(各支部の名産品 販売は10月31日・11月1日)



平成26年度御厨祭

11月 岡山県支部総会開催予定 石川県支部総会開催予定 大阪商業大学校友顕彰式典開催予定

平成28年

1月 学生代表との懇談会

2月 京都府支部総会開催予定

3月 25日：大阪商業大学学位紀授与式出席

平成27年 4月～平成28年 3月 校友会館の宿泊等の貸出し

～第64回御厨祭実行委員より 大学祭へのご案内～

御厨祭に足を運んでください

開催期間 10月30日(金)～11月1日(日)



第64回御厨祭実行委員長 小山 友太

はじめまして。第64回大学祭実行委員長の小山友太です。昨年の大学祭は数年ぶりに3日間共に快晴で学祭日和となりました。大学祭実行委員、来場者の方々、教職員の方々のご協力もあり、素晴らしい大学祭を行うことができました。毎年行っているファイナルコンサートのチケットの売れ筋も良く来場者の方々に大変楽しんでいただけたのではと思います。

さて、今年は、校友会本部・文化会本部・体育会本部・放送局・応援団の5団体が協力し御厨祭の準備に取り組んでいきます。昨年までの先輩方の姿勢、考え方等を引き継ぎ、実行委員全員で取り組んでいきます。また、今までの御厨祭になかった色を出し、より良い物にしていきます。

今年の御厨祭のテーマは「～彩(いろどり)～」です。「～彩(いろどり)～」というテーマにした理由は、十人十色という言葉があるように人には、違った個性があり、その人の色があります。大勢の実行委員が集まり、ともに協力し、個性を出し合い、それぞれの色を出し合っ今回の御厨祭を彩っていきたいという意味が込められています。大勢の人数が関わると意見が多すぎて意思疎通がとりにくいイメージがあります。しかし、意見が多いということは、それだけ個々の個性、個々の色が沢山出てくるということです。彩と言う言葉には美しい色をつけていくという意味もあります。個々の色をすべて取り入れて綺麗な色の御厨祭にしていきます。

今までの伝統を引き継ぐだけでなく新しいことにも挑戦する姿勢を持ちたいと思います。また、私事ではありますが、今まで御厨祭の実行委員長は4回生が務めていたのですが、今年は、3回生である私が務めさせていただきます。まだまだ経験不足な点があり不安もありますが、一生懸命取り組んでいきます。

スタッフ一人ひとりが、自分自身で考え、自由な発想で他大学とは違う大阪商業大学独自の大学祭を創りあげていきます。今年も3日間全てに趣向を凝らし皆様に楽しんで頂ける大学祭を創りあげていくので是非遊びに来てください。

スタッフ一人ひとりが、自分自身で考え、自由な発想で他大学とは違う大阪商業大学独自の大学祭を創りあげていきます。今年も3日間全てに趣向を凝らし皆様に楽しんで頂ける大学祭を創りあげていくので是非遊びに来てください。



母校へGO!

お問い合わせは大学祭実行委員会まで Tel: 06-6781-8367

「ご利用割引制度」について 校友会からのお知らせ …… U・コミュニティホテル宿泊 30%OFF割引制度

大学行事参加等によりU・コミュニティホテルをご利用される場合「谷岡学園特別優待補助券」お持ちの方に30%の割引制度があります。ご利用の際には校友会本部(06-6782-7243)までお申し出下さい。補助券を送付いたします。 ※ご利用の際は校友会本部(06-6782-7243)までお申し出下さい。補助券を送付いたします。 ※ご利用の際は校友会本部(06-6782-7243)までお申し出下さい。補助券を送付いたします。



16号の発刊にあたって

校友会 会長 高岸 暎治

全国校友の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。さて、日本も戦後70年経過、新しい変革が見えるかもしれません。

我が母校も、昭和24年開学から66年間経過、平成31年には開学70周年を迎えます。70周年には6万人以上の同窓生をお迎えして、旧交を温め、お互いの近況を報告しあい、母校の発展を共に心より祝いたいものです。

私の在学時は河内小阪駅から大学まで、ハウス食品(株)工場からの大好きなカレーの匂いが懐かしい思い出です。その工場の生産がなくなり、跡地の多くの部分(面積約2,600坪)を大阪商業大学が取得いたしました。小阪駅から歩いて2分間で母校の敷地に入れます。2019年4月開校予定の新しいキャンパスが今から楽しみです。JR大阪駅(梅田)と接続する、グランフロント大阪にある谷岡学園サテライトスペースの高層から眺める大阪の展望も素晴らしいものです。ここでも母校の教育的な活動も始動しており、点から面への広がりを是非一度お越し頂きご覧ください。

2013年をピークに全国高校生の卒業生も減少に転じているのは、皆様ご存知のことでしょう。2018年には、大幅な大学入学対象学生数が減少します。日本国内の大学を取り巻く環境変化をしっかりと受



ご挨拶

大阪商業大学 理事長・学長 谷岡 一郎

校友の皆様におかれましては、ご活躍のことと思います。

昨今大商大内で、特にスポーツに関して学生にあるまじき行動が報じられ、皆様に肩身の狭い思いをさせたことと存じ、学長としてお詫び申し上げます。「どの大学でもあること」、などと言いつけるのは教育者として潔い態度ではなく、他大学はどうあれ、我が大学だけではそのようなことがないように気をつけるべきです。当該クラブのみならず、全クラブにおいても一度襟を正すため、学内にいろいろな委員会を設け、規律を徹底する所存ですのでしばしば見守っていただけますと幸いです。

スポーツと言えば、野球部が往年の強さを取り戻したようで、神宮の大会に応援に行ってくださいOBの方々も多かったようです。野球

け止めて、校友、大学関係者が協力し対応して、チャンスに致したいものです。

日本の地方私大の再編成、統合や学部集約、大学個別のアクティブ・ラーニング(解決力の養成)、グローバル化(世界的視野を持った活躍の人材養成)等、学生の実力向上にどう取り組んでいくのかが問われております。国立大学を3分野グループに分け、大学評価交付金配分などの検討や専門職大学の諮問進行など日本の大学に求められる変化もあります。母校もそれぞれに必要な変革とコースの新設や海外の複数の大学との協定や提携など着々と先行的活動が進んでおります。

緑の人工芝校庭で、関西六大学野球優勝など試合や練習に励む後輩のスポーツクラブ活動、文化部の活動などご支援ください。

大学の正規授業「地域社会と中小企業」の講師をお願いいたしました卒業生の方々も、おかげさまで21名に達しました。講師の皆様への感謝と共に、これからも2016年度の卒業生講師の募集を致しておりますので、ご自身や友人の皆様で「地域社会と中小企業」の講師にご推薦・ご応募くださいませ。(校友会寄付講座推薦委員会宛、講演予定は2016年4月～5月)

15支部の活動、御厨祭、全国御厨会、会報誌編集委員、寄附講座推薦委員会など日頃の校友会へのご尽力ご支援に深く感謝申し上げます。

校友の皆様のご健康とご発展を祈念いたします。本年もよろしくお祈りいたします。

に限らず、メジャー・スポーツでの活躍は、特にOBの方々から力を入れてほしいとの要望が多い事項ですので、何とか努力を続けたいと思います。でもメジャー競技とか、マイナーな競技なんて呼び方は気に入らん。もともとスポーツに差はないはずで、学長としてはどのクラブも大切にしたいと思います。

政治も国際問題もついでに天候も、鬱陶しい日々が続きますが、大商大OBの方々はこんな時だからこそ、他人はどうあれ自分だけは「ブレない」という生き方を貫いていただきたい。私に関して言えば、学長になった約20年前も今も、学生に対するメッセージや全体の方針は変わっていない自信があります。ただ最近、やりたいことすべてをやり続けると、体力的に無理が生じることに気づき、少しは我慢するかと考える事案が増えました。特に土曜日は、大学院のクラスを午前も午後も入れていますので、校友会の会合(土曜日が多い)に顔を出さないのが心残りですが、授業優先についてはやむをえずご理解ください。

校友の皆様のご活躍こそが、学長にそして大学への最大のエネルギーです。ますますのご発展をお祈りしております。

校友

表紙：大商大チアリーディング部・吹奏楽部

第16号 発行：平成27年7月

編 | 集 | 後 | 記 |

会報誌「校友」を今年もお届けいたします。平成11年に創刊し、平成19年発行の第8号からは現誌名への変更や大幅な頁数の増量など、誌面の刷新を図りました。今回より新たな編集委員が加わったことを契機に、今号は8年ぶりに増頁や新企画に取り組みしました。

今回はダイバーシティの中で女性の活躍推進が叫ばれる昨今、元気な女性校友が登場いただきました。前向きでひたむきな彼女たちの姿に接し、編集委員として「頑張れ!草食系男子」と奮起を促された想いです。引き続き、熱い志を持つ校友の活躍ぶりを紹介したいと思えます。

誌面でも紹介しました通り、母校・大阪商業大学が、開学70周年に向けた新たな動きをスタートさせました。この会報誌が校友と母校・大阪商業大学の「今後の大きな期待」を繋ぐ一助になればと思います。誌面では伝えきれない校友の動きや、消息などはぜひ事務局までお寄せ下さい。

誌面でも紹介しました通り、母校・大阪商業大学が、開学70周年に向けた新たな動きをスタートさせました。この会報誌が校友と母校・大阪商業大学の「今後の大きな期待」を繋ぐ一助になればと思います。誌面では伝えきれない校友の動きや、消息などはぜひ事務局までお寄せ下さい。

●「校友」編集委員会

- 発行責任者：高岸 暎治(校友会会長)
- 編集相談役：宇野 幸三(校友会副会長)
- 編集委員長：神戸 直樹(校友会常任理事)
- 編集委員：竹内 行弘(校友会常任理事)
- 編集委員：篠山 和義(校友会理事)
- 編集委員：水本 香織(校友)
- 事務局：真鍋俊二郎(校友会理事)
- 大学側編集委員：吉田 充(大阪商業大学 学生生活課サブマネジャー)

●ご意見などお便りは下記宛にお送り下さい

大阪商業大学 校友会  
〒577-0036 大阪府東大阪市御厨栄町1-7-22  
電話：06-6782-7243 FAX：06-6782-6411

http://www.ouc-koyu.org/ E-mail:daishodai-koyu@royal.ocn.ne.jp